

都市再生整備計画(第2回変更)

おとがな
乙金地区(第二期)

ふくおか 福岡県 おおのじょうし 大野城市

平成27年6月

都市再生整備計画の目標及び計画期間【変更後】

都道府県名	福岡県	市町村名	大野城市	地区名	乙金地区(第二期)	面積	105 ha
計画期間	平成26年度	～	平成28年度	交付期間	平成26年度	～	平成28年度

目標
大目標 安全で快適な居住環境の形成
目標1 安全な歩行者空間の確保による快適性の向上
目標2 交通利便性や生活利便性の向上による魅力ある居住環境の創出

目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況 【まちづくりの経緯】 ●大野城市第5次総合計画(H21～H30)で、機能的で潤いのある都市空間の創出のため、土地区画整理事業などによるまちづくりを推進する地区と位置づけられている。 ●都市計画道路3・4・77現人橋乙金線が計画され、平成8年度から現人橋乙金線整備事業に合わせてのまちづくりが検討されてきた。 【現況】 ・本地区は、土地区画整理事業によって新たに形成された良好な市街地と以前からある旧市街地の両方を含む地域であるが、旧市街地には小中学校などの公共公益施設も多く立地している。 ・旧市街地は、主要生活道路の幅員が狭く、歩道も整備されていない。また、狭隘道路も多く残っている。 【第1期計画からの課題】 ・事業区域内の通行安全性や歩行者の安全性は高まったが、区域外周の既成市街地の道路基盤は依然として脆弱であり、小中学校まで至る道路でも十分な歩道を確保できていない区間がある。 ・関連事業である乙金第二土地区画整理事業がまだ完了しておらず、事業効果が十分に発揮されるためには、事業を円滑に推進する必要がある。 ・事業により、計画区域内の居住人口が増加しており、計画区域西側に位置する乙金・蓋釜線の交通量が増加傾向にあり、歩行者の安全性が低下している。 ・宅地の整備により、新規に居住する住民が大きく増加したことから、周辺の既成住宅市街地の住民とのコミュニティの形成を促す必要がある。
課題 ・新市街地と旧市街地の回遊性を高めるため、旧市街地における歩行者空間の確保が必要である。 ・新市街地の新たな居住者と旧市街地の居住者のコミュニティ強化を図るための交流促進が必要である。 ・交通利便性の向上を図るため、コミュニティバスの車両の更新等が必要である。
将来ビジョン(中長期) 安全で機能的なまちづくり ・大野城市第5次総合計画(H21～H30)では、機能的で潤いのある都市空間の創出のため、組合施行での土地区画整理を推進する地区と位置づけられている。 ・大野城市第5次総合計画(H21～H30)では、円滑な道路交通網の確立のため、コミュニティバスによる公共交通空白地域解消の地域として位置づけられている。

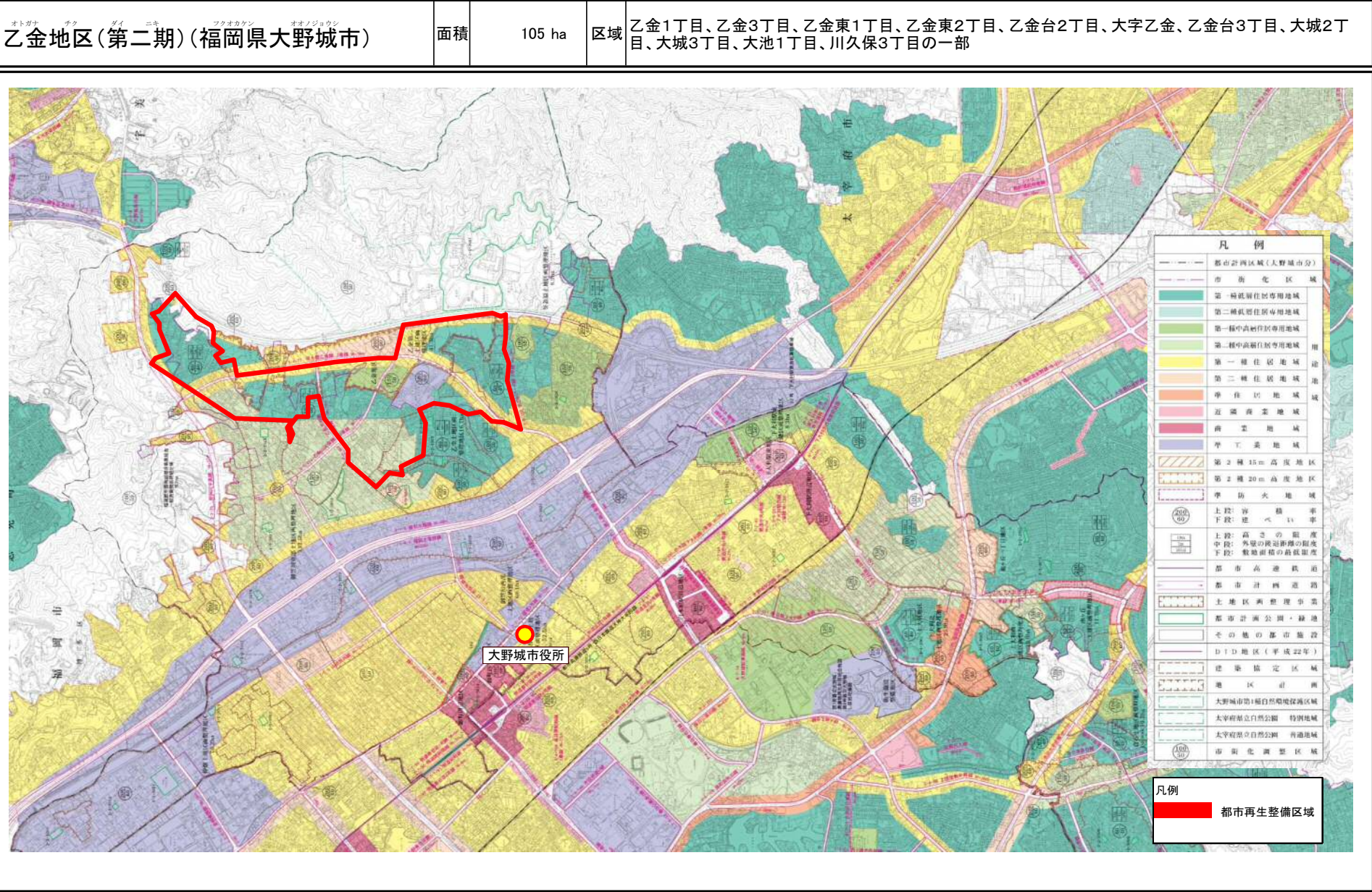
目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
居住人口	人/年	地区内の居住人口の増加率	地区の目標である魅力ある居住環境を達成する指標として、地区に該当する町丁目居住人口の達成状況を把握する。	7,892人	H25	8,100人	H28
新築着工件数	戸	土地区画整理事業地区内の新築戸数(一般保留地)	当事業によつて、快適な歩行者空間の確保により快適性の向上を図り、住みよいまちとして子育て世代などの新規住民の取り込みを計る指標として、一般保留地における新築着工件数を把握する。	77戸	H25	130戸	H28

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
○整備方針1 安全な歩行者空間の確保による快適性の向上		
・歩道整備による既存団地との安全なアクセスルートの確保		・現人橋乙金線歩行者専用道路整備(基幹事業・道路)
・歩行者の安全面に配慮した交差点改良		・現人橋乙金線井の口交差点改良(基幹事業・道路)
・道幅拡幅による通行安全性の確保		・乙金1001号線道路拡幅(基幹事業・道路)
・水路蓋掛けによる歩道の確保		・乙金1007号線歩道整備(基幹事業・道路)
・水路蓋掛けやカラー舗装化等による安全性の確保		・乙金・釜蓋線歩道整備(基幹事業・道路)
・バリアフリー化による快適性の確保		・中・乙金線歩道整備(基幹事業・道路)
・土地区画整理事業における面的な公共施設の改善		・乙金第二土地区画整理事業(関連事業)
・客観的な事業効果の確認		・事業効果分析業務(提案事業・事業活用調査)
○整備方針2 交通利便性や生活利便性の向上による魅力ある居住環境の創出		
・身近な公園の整備による地区内の居住性や魅力ある居住環境の創出		・街区公園(1号公園)整備(基幹事業・公園)
・身近な公園の整備による地区内の居住性や魅力ある居住環境の創出		・街区公園(2号公園)整備(基幹事業・公園)
・コミュニティバス運行による交通利便性の向上		・コミュニティバス購入(効果促進事業)
・水路蓋掛けやカラー舗装化等による安全性の確保		・乙金・釜蓋線歩道整備(基幹事業・道路)
・バリアフリー化による快適性の確保		・中・乙金線歩道整備(基幹事業・道路)
その他		
○組合施行による乙金第二土地区画整理事業について		
地権者で構成する土地区画整理組合の事業の進捗状況や収支報告・事業計画の確認等を今後も引き続き行い、円滑な事業推進をサポートする。		

(参考)関連事業											
事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助 ○	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
土地地区画整理事業	乙金第二地区	乙金第二土地地区面整理組合	国土交通省	A=41.5ha					18	26	9,185.0
合計											9,185.0

都市再生整備計画の区域【変更後】



乙金地区(第二期)(福岡県大野城市) 整備方針図【変更後】

目標	大目標 安全で快適な居住環境の形成	代表的な指標	居住人口	7,892 (人) ⇒ 8,100 (人)
	目標1 安全な歩行者空間の確保による快適性の向上 目標2 交通利便性や生活利便性の向上による魅力ある居住環境の創出		新築着工件数	77 (戸) ⇒ 130 (戸)

